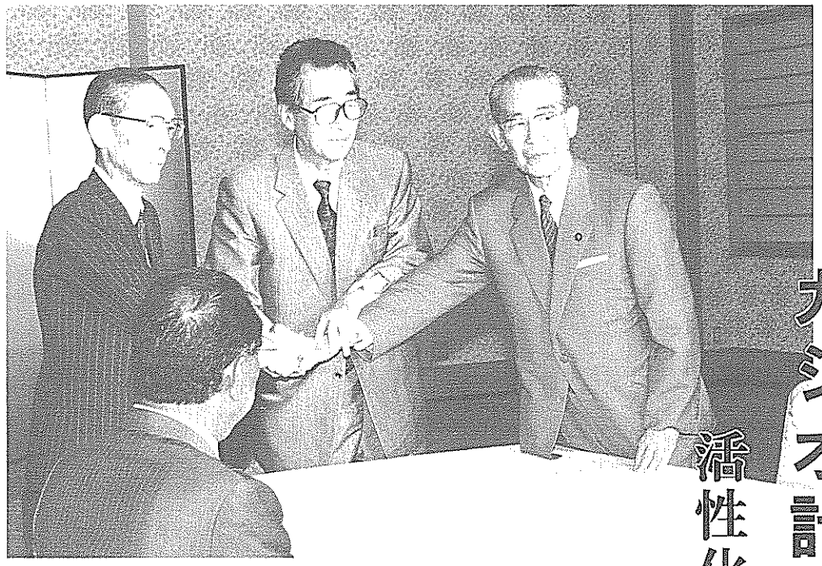
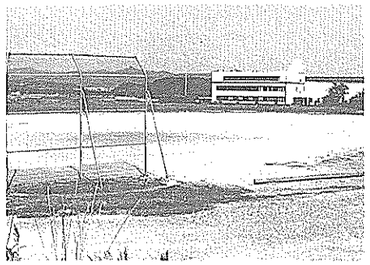
比江工業団地に
カシオ計算機の工場進出
活性化に大きな期待



県、市がかねてより本市久礼田へ誘致を進めていた、電卓をはじめとする世界的な総合電子機器メーカー、カシオ計算機株式会社（樫尾和雄社長、東京都）の工場進出が決定。六月十一日には高知市内のホテルで、樫尾忠雄相談役や中内知事、小笠原市長が出席して協定書が交わされ、来年十月にはカシオの電子部品製造工場の操業が開始されることになりました。



工場建設予定地

工場は、比江工業団地内（久礼田分）に建設が予定されており、敷地面積約三三、〇〇〇平方㍍、延べ床面積約九、九〇〇平方㍍で、今年九月に着工。投資額は約六十五億円、従業員百五十人でスタート、最終的には三百人にする予定です。同社としては、四国初の工場であり、県としては三菱電気高知工場（香我美町）に続く先端技術産業の進出となります。

同工場は、カシオが全面的に出資する関連会社として、順次開発される電子部品の生産を担うことになっており、TAB（※）方式のLSI（大規模集積回路）などの電子部品を生産。当初は月産三百万個を見込んでいます。

関係者は「香我美町にある三菱電気高知工場の集積回路も利用できれば」と話しています。

同社の前会長である故樫尾茂氏は、工場建設が予定されている本市久礼田の出身であることから、県が早くから積極的に誘致していましたが、六十一年四月に同氏が比江工業団地の土地を購入。高速道路、空港など交通が便利なことや、環境がよいこと、地元で優秀な人材が確保できるなどの理由で工場進出を決定しました。

調印式では、相談役と知事・市長の間で、工場の建設、操業、労働力の確保や建設、操業に当たって必要な関係機関及び地元との調整、電力や上下水道などの確保に県、市が積極的に協力すること、従業員雇用に関する地元への優先的な配慮、公害防止、県、市の優遇措置などの内容の協定書がそれぞれ交換されました。

その後、あいさつにたった相談役は、「生前高知に工場を立てたいと話していた両親も、今回の工場進出を喜んでくれていると思う。全力を傾けて工場が軌道に乗るよう努力する」と語っていました。知事と市長はそれぞれ「本県の製造業の発展のみならず、県経済全体に大きなメリットをもたらす」「市の活性化に測り知れない大きな希望と夢を与えていただくことになる。世界の最先端をいく工場の建設と操業の開始を市民も熱いまなざしで見守っている」と大きな期待を寄せていました。

同社では、従業員のうち九〇㌫を地元で雇用することにしており、Uターン組をはじめ、高専、工業高校の生徒などに期待をかけています。

工場の建設が予定されている土地は、現在グラウンドとして利用されていますが、その代替地について、市では、地元との約束もあり、早急に代替地の確保に向けて努力する方針です。

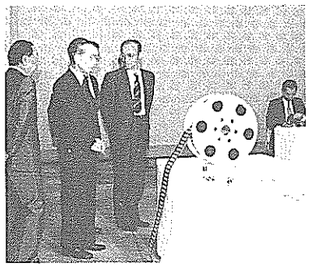
※TAB方式＝テープ・オートマティッド・ボンディングの略で、回路形成したフィルム状のテープにLSIを接合する方式。液晶駆動用、電卓、時計などに用いられる。

ふるさと創生地域づくり推進事業
『ふるさと見聞録』を実施

ふるさと創生事業の一つの柱人材育成事業の一環として、本市では今年八月から平成四年度までの三年間『ふるさと見聞録』を実施することになりました。

南国市は豊かな自然に恵まれた土佐のれい明の地であり、歴史の宝庫である「土佐のまほろば」。立地条件に恵まれた田園都市です。

地域の魅力や輝きは、人々が生き生きと意欲的な活動を繰り広げていくことで生まれます。



製品を前に歓談する相談役（左から2人目）ら関係者

そのためには、有益な情報を集め、従来の考え方に固執するのではなく、ものの見方を変え、新しいことを実行してみることが必要です。

「見聞録」とは、マルコ・ポーロの「東方見聞録」になぞらえたもの。快適な生活環境、豊かな生活や活気あふれるふるさとづくりのための産業振興、教育と個性的な文化の創造、地域の国際化など、地域の課題を追求している市民に、各自のテーマに沿って広く国内外に目を向けてもらい、研修を行うことによって、地域づくりのリーダーとして地域の活性化を推進してもらいたいと考えています。

誇りと愛着をもって地域で活躍している皆さんが、自ら計画を立て、研修し、それによって得たものを生かして行動する「ふるさと見聞録」はこのような方を支援する事業です。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

◪対象　原則として高校生以上の市民で、次のいずれかに該当する方

○主体的に地域づくりに取り組んでいるか、取り組もうとしている方

○職場において主体的に地域課題に取り組んでいる方

○地域づくりのために必要な施策を探究しようとしている方

○学校、職場において、学術的に地域課題を調査、研究している方

◪研修場所　国内外を問わず、研修者が希望する課題研究に最も適した所

◪研修期間　研修者が希望する最も成果が上がると思われる期間（選考委員会で調整することがある）

◪助成　研修に必要とする経費の概ね八〇㌫

◪参加要件

○テーマと参加意義、研修後の方策などについてのレポートの提出

○日程、行程等の詳細なスケジュールの明示

○研修報告の作成

○研修後の実践活動

○参加者の自主的な組織で相互に連携して活動すること

参加者については、ふるさと見聞録選考委員会において選考します。

募集要綱など詳しいことのお問い合わせは、市企画課（☎(63)2111内線421）まで。

’90土佐のまほろば祭り
＝7月28日（土）＝

○朝市
○日本一早い新米祭り
○島崎和歌子リサイタル
○絵馬街道
○土佐のまほろば囃子
○豊年おどり
○花火

その他、多彩なアトラクションを予定しています。